

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(円)	(負債の部)	(円)
<b>流動資産</b>	<b>3,771,328,267</b>	<b>流動負債</b>	<b>743,303,872</b>
現金及び預金	3,367,893,931	1年以内返済予定の 長期借入金	76,000,000
未収運賃	38,047,250	リース債務	151,451,633
未収金	122,251,857	未払金	336,842,599
貯蔵品	242,662,717	未払費用	7,021,379
前払費用	460,499	未払法人税等	4,932,000
未収還付法人税等	12,013	未払消費税等	16,072,900
		預り金	913,582
		前受運賃	79,850,726
		前受収益	27,972,843
		賞与引当金	42,246,210
<b>固定資産</b>	<b>2,313,513,168</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,748,767,056</b>
軌道事業固定資産	2,312,545,248	長期借入金	768,000,000
建設仮勘定	900,000	リース債務	465,953,356
投資その他の資産	67,920	退職給付引当金	509,864,700
その他	67,920	預り敷金	2,099,000
		預り保証金	2,850,000
		<b>負債合計</b>	<b>2,492,070,928</b>
		(純資産の部)	
		<b>株主資本</b>	<b>3,592,770,507</b>
		資本金	100,000,000
		資本剰余金	9,771,521,775
		資本準備金	6,871,521,775
		その他資本剰余金	2,900,000,000
		利益剰余金	△ 6,278,751,268
		その他利益剰余金	△ 6,278,751,268
		繰越利益剰余金	△ 6,278,751,268
		<b>純資産合計</b>	<b>3,592,770,507</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,084,841,435</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,084,841,435</b>

# 損益計算書

( 自 2022年4月1日  
至 2023年3月31日 )

科 目	金 額	金 額
	(円)	(円)
軌道事業		
営業収益		
旅客運輸収入	1,915,182,880	
運輸雑収	463,000,048	2,378,182,928
営業費用	1,842,828,572	1,842,828,572
営業利益		<b>535,354,356</b>
軌道事業営業利益		<b>535,354,356</b>
営業外収益		
受取利息	31,992	
雑収入	26,168,322	26,200,314
営業外費用		
支払利息	9,060,904	9,060,904
經常利益		<b>552,493,766</b>
特別利益		
補助金収入	132,353,332	132,353,332
特別損失		
固定資産除却損	932,081	
廃棄損	364,970	1,297,051
税引前当期純利益		683,550,047
法人税、住民税及び事業税		4,932,000
当期純利益		<b>678,618,047</b>

# 個別注記表

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

（リース資産を除く）

ただし、軌道事業の構築物のうち取替資産については取替法を採用しております。

無形固定資産 定額法

（リース資産を除く）

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を残価保証額とする定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ①賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額を計上しております。

#### ②退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生している額を計上しております。

### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

### (5) 収益及び費用の計上基準

運輸収入に係る収益は、旅客運送によるものであり、旅客との運送契約に基づいて旅客を運送するサービスを提供する履行義務を負っておりますが、当該履行義務は旅客運送の実施時点において、旅客が当該サービスに対する支配を獲得して充足されると判断し、収益を認識しております。なお、旅客運送のうち定期乗車券を使用する旅客は、旅客が当該サービスを楽しむことができる期間に応じて、時の経過に従って収益を認識しております。また、運輸雑収に係る収益は、北九州市所有施設の管理の受託によるものであり、同市との「北九州都市モノレール小倉線軌道敷等維持修繕業務委託契約」に基づく履行義務を負っておりますが、当該履行義務は、委託契約書に規定する四半期毎の履行報告により充足されると判断しており、当該履行報告に従い収益を認識しております。

## 2 会計方針の変更に関する注記

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日改正。以下、「時価算定会計基準の適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準の適用指針第27—2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準の適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用しております。

なお、当事業年度に係る計算書類への影響はありません。

### 3 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を検討した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を与える可能性のあるものは次のとおりです。

(繰延税金資産の回収可能性)

①当事業年度の計算書類に、繰延税金資産は計上しておりません。

②繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積もっております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

### 4 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	16,585,665,545円
(2) 軌道事業固定資産	
有形固定資産	2,310,113,644円
土地	1,759,227,921円
建物	48,109,207円
構築物	103,593,707円
車両	121,871,054円
リース資産	52,983,606円
その他	224,328,149円
無形固定資産	2,431,604円
(3) 支配株主に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	74,298,223円
短期金銭債務	76,016,602円
長期金銭債務	768,000,000円

### 5 損益計算書に関する注記

(1) 営業費の合計及び内訳	
営業費	1,842,828,572円
運送営業費及び売上原価	1,133,989,819円
販売費及び一般管理費	301,128,146円
諸税	90,624,835円
軌道敷等維持修繕業務受託費用	205,029,026円
減価償却費	112,056,746円
(2) 支配株主との取引高	
営業取引	
営業収益	247,611,953円
営業費	1,835,479円
営業取引以外の取引高	
雑収入	16,686,240円
補助金収入	106,120,000円

### 6 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の数      普通株式      270,388株

## 7 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、北九州市からの借入により資金を調達しております。借入金の使途は運転資金及び設備投資資金であります。  
ファイナンス・リース取引に係るリース債務は主に設備投資に係る資金調達であります。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。  
(単位：円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	3,367,893,931	3,367,893,931	0
(2) 未払金	336,842,599	336,842,599	0
(3) 長期借入金 (※1)	844,000,000	816,164,718	△ 27,835,282
(4) リース債務 (※2)	617,404,989	593,446,120	△ 23,958,869

(※1) 1年以内に期限が到来する1年以内返済予定の長期借入金を含んでおります。

(※2) 1年以内に期限が到来するリース債務を含んでおります。

### (注) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

### (1) 現金及び預金、(2) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

### (3) 長期借入金

長期借入金の時価は、個々の取引から発生する将来キャッシュ・フローを返済期日までの期間及び信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

### (4) リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額を信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

## 8 関連当事者との取引に関する注記

### 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高	
支配株主	北九州市	被所有直接100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>軌道敷等維持修繕業務委託の契約締結</li> <li>長寿命化工事に関する協定の締結</li> <li>資金の借入</li> <li>割引乗車券発行支援金</li> </ul>	軌道敷等維持修繕業務受託収入	245,581,953円	前受収益	16,602円	
				長寿命化工事に係る監督管理等の事務費	16,686,240円	未収金	15,532,840円	
				利息の支払	0円	1年以内返済予定の短期借入金		76,000,000円
						長期借入金		768,000,000円
				補助金の受領	106,120,000円	未収金	6,120,000円	

### 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 軌道敷等維持修繕業務受託収入及び長寿命化工事に係る監督管理等の事務費については、項目ごとに市場の実勢価格等を勘案して価格交渉の上決定しております。

(注2) 借入金利息については、契約により全額無利子となっております。

(注3) 取引金額には消費税等を含んでおりません。期末残高には消費税等を含んでおります。

9	一株当たり情報に関する注記	
	(1) 一株当たり純資産額	13,287円46銭
	(2) 一株当たり当期純利益金額	2,509円79銭
10	重要な後発事象に関する注記	
	該当する事項はありません。	